

**製品名: GFAP ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21476**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:50kD;Observed MW:50kD

**抗原情報**

遺伝子名	GFAP
別名	GFAP;Glial fibrillary acidic protein;GFAP
遺伝子 ID	2670.0
SwissProt ID	P14136
免疫原	ヒト GFAP の合成ペプチド

**背景**

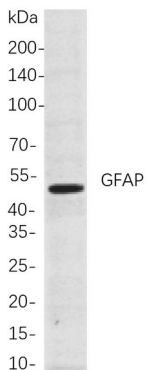
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、成熟アストロサイトの主要な中間径フィラメントタンパク質の一つをコードしています。発生過程において、アストロサイトを他のグリア細胞と区別するためのマーカーとして用いられます。この遺伝子の変異は、中枢神経系ア

ストロサイトの稀な疾患であるアレキサンダー病を引き起こします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 10 月]

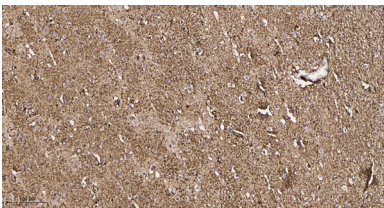
## 研究分野

-

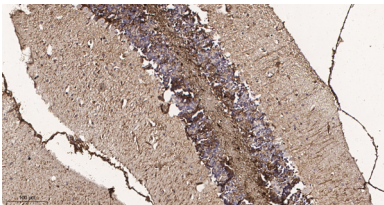
## 画像データ



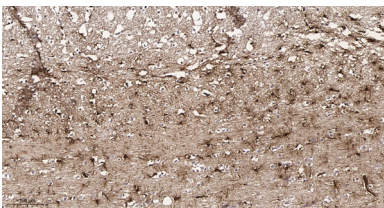
GFAP ウサギ mAb を用いたマウス脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。1、GFAP ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。1、GFAP ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。1、GFAP ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。